

名古屋大学医学部附属病院

病院長名	丸山 彰一
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市長和区鶴舞町 65 番地
交通案内	JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3 分 名古屋営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8 分

□ 病院の特徴

名古屋大学では従来、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008 年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2 年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT（On the Job Training）を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学医学部附属病院小児科研修医（専攻医）プログラム

【研修目標】

小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する。

【研修期間】

3 年

【研修スケジュール】

1 年目は研修連携施設のうち救急、NICU、高い専門性をもった大規模施設、または小児科のプライマリーな診療を行う中小規模施設において研修を開始する。2 年目は 1 年目に引き続いて、慢性疾患、重症疾患、救急の研修を行うとともに、それぞれの連携施設の特徴に応じて血液・腫瘍、神経、循環器、アレルギー、腎臓、新生児など専門性の高い疾患についても研修を行う。3 年目は研修基幹病院である名古屋大学医学部附属病院における半年の研修を含めた専門性の高い研修を行う。



▲新入院患者のカンファランス風景



□ 主な連携施設

名古屋医療センター、名城病院、中京病院、中部労災病院、名古屋掖済会病院、AOI 名古屋病院、名鉄病院、春日井市民病院、稲沢市民病院、江南厚生病院、あま市民病院、津島市民病院、豊田厚生病院、碧南市民病院、西知多総合病院、半田病院、常滑市民病院、大垣市民病院、可児とうのう病院、中津川市民病院、中東遠総合医療センター、トヨタ記念病院、愛知医科大学病院、総合大雄会病院、愛知県医療療育総合医療センター、愛知県青い鳥医療療育センター、三河青い鳥医療療育センター、豊田市こども発達センター、岡崎市民病院

□ メッセージ

指導医（研修プログラム副統括責任者 村松 秀城）

小児科医は、成長・発達過程にあるこどもの診療にあたるため、正常の成長・発達に関する知識が不可欠で、新生児期から思春期までの幅広い知識が必要です。さらに小児科医は general physician としての能力が



求められ、そのために、小児科医として必須の疾患をもれなく経験し、疾患の知識とチーム医療・問題対応能力・安全管理能力を獲得し、家族への説明と同意を得る技能を身につける必要があります。

本プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修します。専攻医は「小児科医は子どもの総合医である」という基本的姿勢に基づいて 3 年間の研修を行い、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の 5 つの資質を備えた小児科専門医となることをめざしています。私たち指導医とともに切磋琢磨しながら充実した研修を送りましょう。

□ 募集要項

・採用予定人数	10 人
・給与/月額	月額約 20 万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等））を支給
・当直回数/月	約 3 回/月
・当直料/回	20,000 円/回
・その他	平日日勤帯の外勤等（週 1 日まで）可
・応募連絡先	担当者 村松 秀城 電話番号 052-744-2294 E メール chiefped@med.nagoya-u.ac.jp